

労働災害の約8割は、停車時に発生

停車中の危険は、すぐ側に

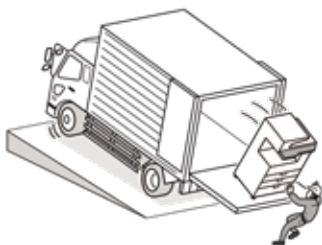
テールゲートから荷物の落下事故編

労働災害は、いつ発生するかわかりません。しかし、事前の対策によりその多くは防止できるでしょう。今回は荷降ろし中、トラックのテールゲートから荷物が落下してきた災害例および対策を紹介します。

災害例

テールゲートから落下してきた荷物の下敷きになった

機械（複合機）を降ろすため、荷台からテールゲートまで移動させた時、トラックが後ろ向きに傾き、機械が落下してきて作業者が下敷きになった。



原因

- 傾斜のある場所にトラックを止めて作業を行っていた
- 事前に、作業手順や作業方法が定められていなかった

対策

- トラックから荷降ろしを行う場合は、原則として、平らな場所で行う
傾斜のある場所で行う場合は、修正治具を使用し、トラックが水平となっていることを確認してから荷物を降ろす。
- 作業指揮者、作業方法などを定め、それに基づき作業を実施する
あらかじめ荷物や場所などの状況を踏まえ、作業方法や作業分担を定め、それに基づく作業を徹底する。また作業指揮者も事前に決めておく。

テールゲートを使用する際、「6つの基本ルール」を守って作業を行ってください

■6つの基本ルール

